

情報化施工見学会等報告書

地整名： 北陸地方整備局

1. 報告内容	該当番号(右記から選択)	1. 見学会	2. 研修会
2. 主催者	新潟国道事務所	3. 開催日	平成23年9月26日(月)
4. 工事概要(研修会の場合は、記入不要)			
1) 工事名: 揚川改良 津川地区改良その3工事			
2) 工期: 平成23年 3月11日から平成23年12月20日			
3) 施工場所: 新潟県東蒲原郡阿賀町津川地先			
4) 請負金額: ¥330,960,000(当初)			
5) 請負者: 株式会社 福田組			
6) 施工規模・主要工種等:			
工事延長645m 掘削工92,000m ³ 法面工8,490m ² 排水工1式			
5. 見学(研修)対象情報化施工技術			
1) 技術の概要			
揚川改良事業におけるTS出来形管理試行工事現場において、バックホウマシンガイダンス(MGBH)技術のデモンストレーション施工(法面掘削整形)とその出来形測定をTS・GNSSの双方で実施。現場導入可能な技術であることと共に、その施工精度の高さを実証。			
2) 情報化施工を導入した工種・規模			
TS出来形管理: 道路土工すべて。 MGBH技術: 掘削法面整形 約2000m ²			
3) 使用建機(機器)等			
0.8m ³ 級バックホウ、トータルステーション、GNSS出来形測定データコレクタ			
4) 使用システム			
3次元バックホウマシンガイダンスシステム			
6. 参加者数(人) 58人			
7. 見学会(研修会)現地状況(写真貼付)			
8. 見学会(研修会)開催にあたって、うまくいった点・反省点など			
1) うまくいった点: 発注者・施工業者・システム業者 といった情報化施工に携わる関係者に広く現在の技術を認識して頂けた。			
2) 反省すべき点:			
3) その他:			
9. 見学会(研修会)参加者の反応等(コメントできる範囲で記入してください。)			
現段階でコスト面に関して未だ問題があるものの、新潟県内におけるMGBH技術の初めてとなる現場実施工であり、技術の推進に貢献出来たものと判断する。			